

		音楽研究会		歌唱部会記録	
日時	令和4年 5月 11日				
部会名	歌唱部会			主任	神山 恭 (下永谷小)
参加数	23名	司会	木曾 幸 (新吉田小)	記録	慶長 明代 (折本小)
研究 内 容	研究主題：ときめく つながる 響き合う音楽科学習				
	研究部テーマ：音楽的な見方・考え方を働かせ、思いや意図をもって、 協働的に学ぶ子どもの姿を目指して				
	歌唱部会テーマ：楽曲のよさを感じ取り、互いに歌い聴き合う中で、自分の考えを広げ、 豊かな表現をめざす歌唱活動				
	○役員自己紹介 主任：神山 恭 (下永谷小) 副主任：木曾 幸 (新吉田小) 慶長 明代 (折本小)				
	○基礎研究 慶長 明代 (折本小)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和三年度六月に実施した音楽集会について～学年4～5クラスの大規模校（川和東小）であるが、感染状況が少し落ち着いた頃だったので、ペア学年で体育館で聴き合う形の音楽集会を実施した。発表する学年は、ステージ上・ステージ前のひな壇と体育館床に、前後1m程間隔を取って並んだ。お互いに5分くらいの曲（斉唱又は合唱）と学年目標を発表し聴き合った。 ・そのときに4年生で歌った「FACE」を紹介。部分二部合唱の曲で、はじめは、ユニゾンで始まり、二声のかけあいやハモリがある。似た旋律を強弱を変えて繰り返すため覚えやすい。最後は、ソプラノパートがオブリガートになり、アルトが主旋律を受け持つ。 ・CDを聴き、皆で歌う。 				
	○研究テーマについて				
	<ul style="list-style-type: none"> ・提案通りに決まったが、豊かな表現をめざすための技能については、まずはのびのびと歌えることが大前提。声をそろえることに重きを置きすぎない。意欲を支えるための技能。 				
	○研究計画について				
	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の授業研究会の授業者：木曾 幸先生 (南吉田小) ・実践提案：谷 先生 (能見台小) 原山先生 (中和田小) ・研究授業の分析と考察：長澤先生 (子安小) ・基礎研究、各月の記録を決めた。 				
○情報交換：音楽集会を実施している学校～リモートで実施。各学年の発表を映像で流す、教室で今月の歌を歌う。 学年2クラスの学校は、体育館で聴き合う予定。 合唱クラブは、週2回くらいで活動を始めている。 リコーダーを実施している学校は、そのときの参加校で半分ほど。					